

福島県内の候補地の特徴

阿武隈地域に位置する福島県の首都機能移転先候補地は、次のような優位性を持っています。

1 広大な開発可能地

本地域は、一部平坦部を含む標高300～350mのなだらかな地形です。
これまで都市的開発があまり行われてこなかったため、豊富な開発可能地が残されており、今後多様な開発を可能とする広大な空間を有しています。

2 豊かな自然環境

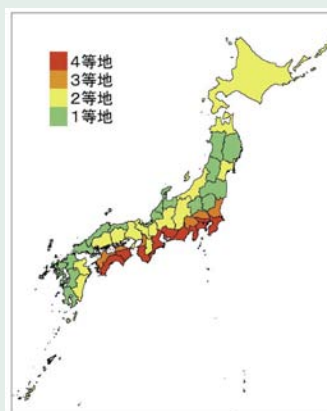
豊富な森林資源に恵まれており、豊かな自然環境を活用した観光・レクリエーション資源が数多く分布しています。気候も、夏期は冷涼で、冬期でも積雪量は少なく、寒さも比較的厳しくはない、穏やかな気候です。

3 安全で堅固な地盤

本地域の多くは、表層地質の大半が花崗岩類の堅固な地盤であり、活断層も少ないことから、全国的に見ても震源となったことの少ない地域です。

これは、平成18年5月に損害保険料率算出機構による地震保険基準料率の見直しが行われた際も、改訂前後を通じて1等地とされた全国6県のうちの1つであり、東日本で唯一の地域となっています。

そのため、もしも首都圏で大規模地震等災害が発生した場合でも、政治や行政機能が停滞することなく、災害復旧を迅速に行うことが可能であるなど、危機管理機能の向上や国土の災害対応力の強化を図る上で、首都機能の移転先として最も適した立地条件と言えるでしょう。



4 交流・物流基盤の整備進展

高速交通体系も整備されており、その効果を直接享受できる地域にあります。
陸・海・空の交通手段によって、全国各地や世界各国と多様な交流・物流圏を形成する大きな可能性を有しています。

(1)東北新幹線：東京までの所要時間は、郡山駅から約1時間20分、新白河駅からは約1時間30分です。

(2)高速道路網：東北自動車道、磐越自動車道、常磐自動車道の高速道路網が整備されており、さらに東北自動車道、福島空港、磐越自動車道を結ぶ地域高規格道路のあぶくま高原道路の整備も進んでいます。



(3)福島空港：2500mの滑走路を有し、国内の主要都市や海外へも定期路線で結ばれています。また、3000m滑走路への拡張用地も確保しており、首都圏空港を補完する空港機能の整備も可能です。

- 国内線 大阪まで約1時間30分 名古屋まで約1時間10分
札幌まで約1時間20分 沖縄まで約2時間45分
- 国際線 上海まで約2時間 ソウルまで約2時間40分



(福島空港)

(4)小名浜港：昭和26年に重要港湾としての指定を受け、国際貿易港として外国貿易コンテナ定期航路の韓国・中国航路及び韓国航路が開設されており、今後とも広域的物流拠点としての役割が期待されています。



(小名浜港)

(5)相馬港：福島市を中心とする県北地方、さらには宮城・山形両県南部を包含した広域経済圏の海の玄関口として、昭和49年に重要港湾、昭和56年にエネルギー港湾としての指定を受け、物流拠点港湾としての役割を担っています。

5 国会等移転審議会答申

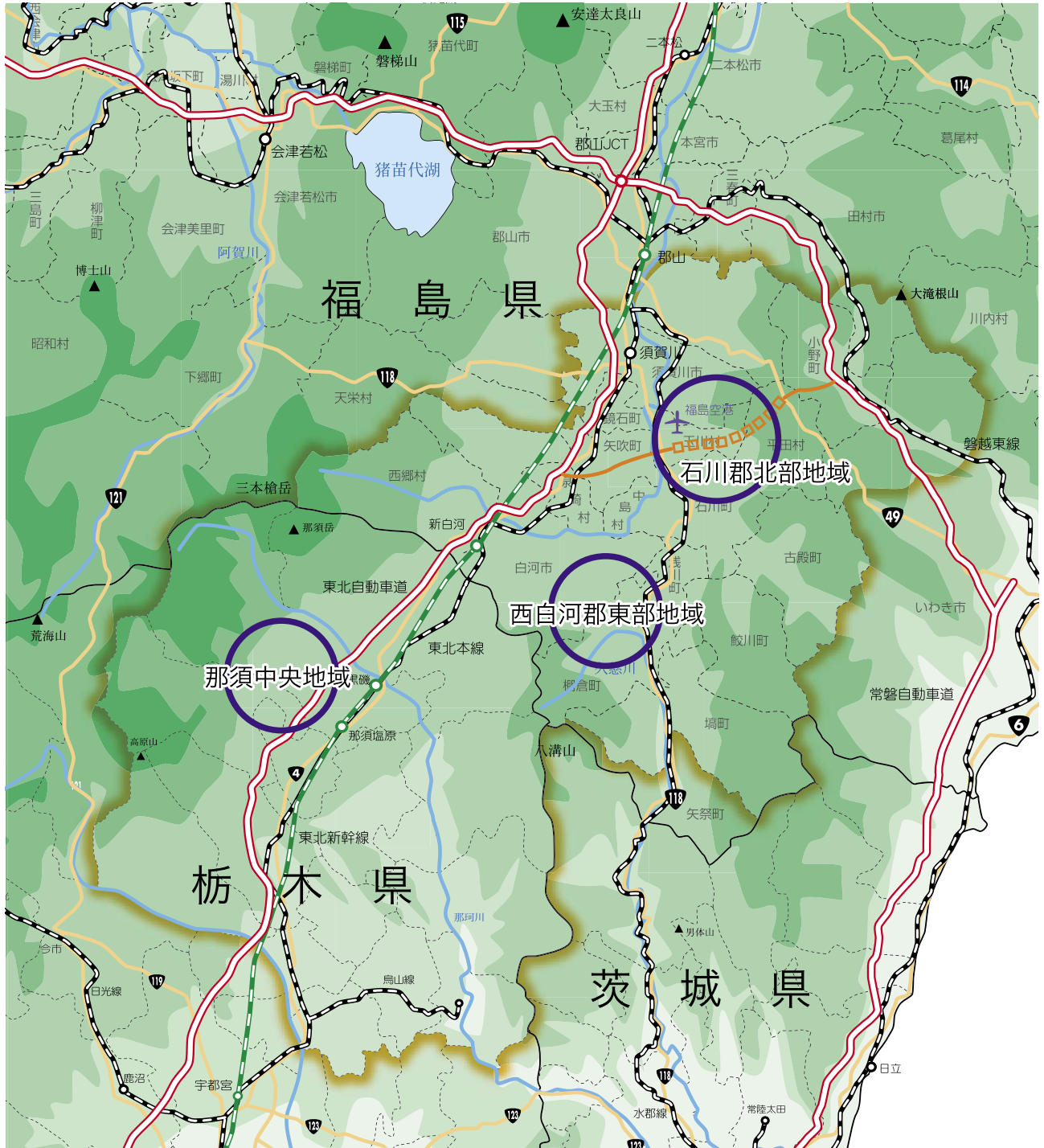
平成8年12月から平成11年12月にかけて審議を行った国会等移転審議会は、各候補地が有する特徴等について多面的・多角的な検討を行う重みづけ手法による総合評価を実施しました。

その結果、「栃木・福島地域」は、当該評価の最上位項目である、「大規模災害時の新都市と主要都市間の情報・交通の確保」や、「移転先候補地の地震災害に対する安全性」について高い評価を得ました。

同審議会答申においては、「多面的、多角的な検討の結果によっても、栃木・福島地域の優位は動かない」、「栃木・福島地域又は岐阜・愛知地域が移転先となるべき」と結論づけられています。

移転先候補地「栃木・福島地域」

「栃木県・福島地域」は、栃木県的那須地域と福島県の阿武隈地域にまたがる地域です。



注 ○は国会等移転審議会が総合評価において、地形等の即地性の高い分野の評価を行う上で設定した検討地域であり、実際に新都市を建設する際の範囲や位置を特定するものではありません。

■福島県の対象市町村（内）

郡山市（中田・田村地区）、いわき市（川前・三坂地区）、白河市（白河市、旧表郷村、旧東村、旧大信村）
 須賀川市、田村市（旧滝根町）、鏡石町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、小野町、西郷村、
 泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、塙町、鮫川村（19市町村）

■石川郡北部地域：須賀川市、石川町、玉川村

西白河郡東部地域：白河市、浅川町、棚倉町